

ごあいさつ

昭和27年の通水を開始して以来、川口市の水道は、7度の拡張事業を経て、安心してお使いいただける水道水をお届けする環境を整え、現在ほぼ100%普及している状況です。荒川と芝川を有する市域は、台地と低地が複雑に入り組み、複雑な管路整備も克服し、水資源の確保、社会需要の変化にも対応してきました。施設整備が重点目標であった「拡張の時代」から、施設の効率的な活用・機能保全を担ってきた「維持管理の時代」、そして、水道水を供給する事業者から、水道水を担うサービス企業体として改革を図り、安定した基盤のもと持続可能な企業として「経営の時代」を歩んでいます。

現在、節水意識の浸透や節水機器の普及などにより、水道を取り巻く社会環境は、日々変化しており、複雑化・多様化した水需要に添えていくには、水道水を使用しているお客様の率直な声をいただき事業に反映することが大切です。

そこで私たちは、貴重なお客様の意見を集約するとともに、水道局の職員による思いを分析し、さらに川口市上下水道事業運営審議会の審議を得て、平成20年度に「アクアプラン川口21～川口市地域水道ビジョン～」を策定しました。長期経営計画として将来10年間にわたる理想の姿と、それを実現するための具体的な道筋を中期経営計画として示したものです。川口市に住む・働く・訪れる現在そして未来の人々に、平常時だけでなく災害時においても、確実に水道水をお届けするために、それに携わるすべてのパートナーと手を取り理想の姿を実現することをお約束しました。

最初の中期経営計画発信から3箇年が過ぎたこの間、川口市最上位計画である「第4次川口市総合計画」が策定され、市行政と連携し、企業体としてのさまざまな経営革新を図り続けてきました。老朽管の更新や水道施設の耐震化、また、地震に限らないあらゆる災害に対する備え、そして技術力の確保など山積する課題を着実に解決するため、今回の改訂版にて達成すべき方向性を改めてお示しするものです。

私たち川口市水道局は、徹底した危機管理のもと、経営の健全化を図り「安全・安心と真心を いつでもお客様のもとへ」お届けして参ります。

平成23年2月

川口市水道事業管理者 有山敏明

